



小網代通信

発行: 小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代
1385-18
編集: 広報委員会
編集長: 里吉美恵子
連絡先: office@koaziroyc.jp

Koaziro Yacht Club

2025年 4月号 VOL-322

2025. 4.10 発行

今月の内容

連絡事項	(編集委員).....	1
「ANIORU'S CUP2025」に参加して	(くろしお 岩本 志満).....	2
初めての2泊3日伊東クルージング	(くろしお 谷口 明香里)	3

今後のイベント予定

4月 KFR	: 4月 20日(日) Eコース (10:25 スタート予告信号 15:00 タイムリミット) ※3月のHコース 浮き相模3号が修理で撤去されていたため Eコースに変更されました。
4月総務委員会	: 4月 21日(月) 19:00~ ハイブリッド(品川でリアル会議とZoom会議)で実施

連絡事項

- 「ANIORU'S CUP2025」(日本学生外洋帆走連盟 主催)に今年も協賛しました。
2月21日(金)~23日(日)に、愛知県 三河みとマリーナで行われ、当クラブ所属の3大学「仰秀」「くろしお」「桜工」の艇のメンバーが「東大」チームと「千葉大」「日大」は合同チームで参戦しました。優勝は神戸大学でした。



合同チームの千葉大3年生で参加した岩本さんに報告をしていただきました。2ページに掲載していますので是非ご覧ください。

- 「小笠原レース 2025」開催。(主催) JSAF/JOSA (協力) 三浦外洋セーリングクラブ/外洋相南/油壺特泊
小網代沖スタートで小笠原フィニッシュの500マイルレース。4月26日(土)スタートし、5月1日(木)小笠原にて表彰式の予定。当クラブから「テティス4」が参戦します。
当クラブハウス2階で艇長会議と懇親会が25日(金)13時~17時に行われます。
前日からスタートの日までクラブハウス入口周辺に「のぼり旗」等が設置されるということです。
スタートは26日(土)予告信号10:55
(小網代湾中) 相模網代崎沖灯浮標海面 応援観覧お願いいたします。



- 2025 ボートショーを見て。【開催期間 3月20日(木)~23日(日)】
今年のチケットは2,000円で何度も入場可能なフリーパス。中学生以下無料。「FAMILY MARINE PARK」というコーナーでは、初めて来場されたかたに向けて、(マリンライフのはじめかた) (ボート免許やマリーナの紹介)をはじめ、「ファミリーでも大満足、お子様が楽しめるボートショー」としてのゲームがお目見え。ステナブルビレッジのコーナーは、ごみ分別の紙芝居、海のプラスチックやボトルキャップを使ってアクセサリーを作るなどいろいろな体験ができ、多くの家族連れがパシフィコ横浜の会場を楽しんでいました。なかなか素敵なお取り組みで、来場されたお子様が将来セーリングに興味を持つもらえたたらと希望の持てるボートショーでした。



ボートショー内の看板

「ANIORU'S CUP 2025」報告

くろしお 岩本志満

千葉大学・くろしお『ANIORU'S CUP2025』に参加しました！

『ANIORU'S CUP（全日本学生外洋ヨット選手権）』

毎年2、3月に日本学生外洋帆走連盟（以下、外洋学連）が主催する、「J24」を使用した大学対抗のレース。会場準備や当日のレース進行などの大会運営も学生が務める。学生レースは、同じく外洋学連主催の『PRE ANIORU'S CUP』（毎年11、12月）と合わせて年に2回。

（今年度） 日時：2025年2月21日（金）～23日（日）

場所：愛知県・三河みとマリーナ

参加校：慶應義塾大学、神戸大学、千葉大学、東京大学、日本大学、防衛大学校



今回、部員不足や経験不足等で単独での出場が厳しい、千葉大学、日本大学、慶應義塾大学でメンバーを揃えて合同チームとして参加しました。

千葉大学 3年生：2人、1年生：2人

日本大学 3年生：1人、2年生：1人、1年生：1人

慶應義塾大学 3年生：1人

普段は各校ごとで活動しているため、時々マリーナ付近で会って挨拶するぐらいの関係でしたが、大会参加が決まってから大会までの約2ヶ月間は、毎週土日に小網代と油壺を行ったり来たりしながら合同練習を行いました。

レースのほか、ルール講習会と懇親会も行いました。今大会は外洋学連のビッグイベントですが、部員数が少ない学校が多いため、他校とはすぐに仲良くなれます。特に1年生にとっては、他校の学生とクルージングやレースの話で盛り上がり、部活動としての悩みを相談したりするなど、今後の活動のモチベーションが上がる良い機会だったと思います。

来年度もまた、学生がお互いを高め合い、和やかで良好な関係性を継続していきたいです。



〈レースリザルト〉

全5レースで合同チームは4チーム中4位。

普段使用しない艇種とうねりに苦戦しつつも、レースを重ねるごとに確実に良い走りになったと思いますし、1位の瞬間も作ることができました。

ヨット仲間に出会うことができ、ヨット技術を磨くこともできるこの大会に今年も参加することができ、非常に良かったです。

（日本学生外洋帆走連盟 HP はこちら↓）

<https://aniorugakurenn.wixsite.com/website>

最後に、日頃より「くろしお」を支えてください、今大会に協賛をいただいた小網代ヨットクラブ様に感謝申し上げます。

（報告：千葉大学3年生 岩本志満）

初めての 2 泊 3 日伊東クルージング

くろしお 谷口明香里

KYC の皆さん、こんにちは！くろしおの谷口明香里です。私は 2019 年に大学入学、およびヨット部に入部し、今年（2025 年）の 3 月に大学院を修了するまで活動をしてきました。ところが、6 年間で 1 度も宿泊を伴うクルージングに行けませんでした。その理由は、計画を立てても台風が直撃したり、学生だけで外洋で航海する技量がなかったり、コロナ禍で宿泊（船内泊）が制限されたなど、さまざまでした。私はくろしおの歴代の諸先輩が記した大島や下田、神津島クルージングの記録を読んでいたので、学生のうちに 1 度はクルージングに行きたいという気持ちが強くありました。

小網代—伊東（伊東サンライズマリーナ）クルージングの計画が動き出したのは、今年の年明けでした。現役部員や OB のご協力があり、計画書作成および準備がスムーズに進み、クルージング前夜を迎えるました。私は、6 年目にして初めての船内泊を経験し、2 月の極寒の中でもクルージングに行ける！という興奮が抑えきれませんでした。小網代出航後は、伊豆半島が見えているのに、なかなか着かず 27 マイルは遠いと感じました。復路出航前に伊東のマリーナ内でエンジンがかからなかつたことを含めて、たくさんのこと経験し、先輩方に近づけた気がします。今は無事に小網代に戻ることができ、一安心です。4 月から社会人になりますが、休暇を取ってみんなでクルージングに行きたいです！以下、各日の活動紹介です。

<p>★1 日目★ 小網代→伊東 (2/25)</p> <p>08:00 小網代出航</p> <p>13:00 伊東サンライズマリーナ着</p> <p>★2 日目★ 休憩日・伊東観光</p> <p>恐竜公園、小室山リッジウォーク</p> <p>城ヶ崎海岸、伊東港</p> <p>★3 日目★ 伊東→小網代 (2/27)</p> <p>10:00 伊東サンライズマリーナ出航</p> <p>15:40 小網代着</p> <p><u>参加メンバー（当時の学年）</u></p> <p>修士 2 年：谷口、中村、平上、丸尾</p> <p>学部 3 年：岩本、藤田</p> <p>OB：坂本監督、福島さん</p> <p><u>天気・風</u></p> <p>往路：晴れ、西、10 kt</p> <p>復路：晴れ、南西、5 kt</p> <p>（艇速 5 kt 程度になるように機帆走）</p>	 <p>部員集合写真。榎本(修士 2 年)がインフルで来られなかったのは残念。</p>  <p>往路の様子。クルージングは練習とは違う楽しさがありますね！</p>  <p>伊東の魚介料理を堪能しました。おいしかったです！</p>  <p>協力してくれた新 4 年生 2 人。藤田恭平(左)、岩本志満(右)</p>
<p>現役コメント（岩本志満さん・新 4 年生）</p> <p>今回のクルージングは卒業される先輩方の最後の思い出として開催されました。部活を引退してからしばらくヨットを離れていた方もいらっしゃいますが、この機会にまたくろしおに集まれたのは本当に素晴らしいことだと思います。道中は話が尽きず、みんなで BBQ をしたりドライブしたり、春休みの思い出としてとても良い 3 日間を過ごすことができました。先輩方の卒業クルージングと一緒に参加できたこと、とても嬉しく思います。</p>	

Facebook のアカウントをお持ちの方は、「千葉大くろしお」のページも合わせてご覧ください。普段の練習の様子やレースの報告などを行っています。<https://www.facebook.com/groups/414659005245596/>